



# ゆたかっこ

学校だより 1月号 ⑮

豊見城市立ゆたか小学校  
豊見城市字豊見城 601 番地 1  
TEL850-6639 FAX850-3940  
校長 宮平 やすみ

～夢や希望に向かってはばたき 確かに学び 体をきたえる ゆたかっこ～

## 2019年の幕開け! 新たな一歩へ!

明けましておめでとうございます。子ども達は、楽しい年末年始を過ごした充実感で、初日から元気に登校してきました。2019年はイノシシのように、目標に向かって真っ直ぐに突き進む元気な一年にしたいですね。

2学期後半は、この一年のまとめと同時にいよいよ次の学年に向かって準備をする期間でもあります。4月に撮った顔写真をみると、どの子の顔も一年間の成長がすぐにわかります。心も体も頭もその子なりにちゃんと育っています。その成長を一緒に振り返り、これからの意欲を高める3ヶ月にしていきたいと思います。保護者の皆様のご理解とご協力が何より大きな支えとなりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

「ゆたかっこ」を学校HPでも見られるようになりました。

## 明けましておめでとうございます



えがおとありがとうがいっぱいのゆたか小学校でありますように!



### 1月4日 全校集会「校長先生のお話」 ～実話をもとに創作したお話です～

仕事の帰りに、電車の中で出会った女の子とお母さんのお話です。幼稚園くらいの女の子と若いお母さんが、わたしのとなりの席にすわりました。とちゅうの駅で、片うでのない女性が乗ってきて、向かいがわの席にすわりました。すると、「お母さん、なんであの人は手がないの?」

と女の子は不思議そうにたずねました。それは、周りにも聞こえる声でしたので、みんな思わず目をそらしたり、聞こえないふりをしていました。でも、女の子のお母さんは、静かに話し始めました。

「いろんな人がいるの。みんな同じじゃないの。みこちゃんには、おじいちゃんとおばあちゃんがいらないでしょう?」

「うん、みんなにはいるけど、わたしはおじいちゃんとかいらないなあ。」

「うん、いろんな人がいるけど、おじいちゃんやおばあちゃんがいらないのは、みこちゃんのせいじゃないよね。」

「うん、ちがう。あ、さっちゃんとはお父さんがいらないよ。」

「そうね。でも、それはさっちゃんのせいじゃないよね。」

「うん、ちがう。さっちゃんほどとてもやさしくていい子。」

「だからね。みんなおんなじじゃないの。みんなそれぞれ持っているものと持っていないものがあるのよ。でもね、持っていないからって、その人はなんにも悪くないし、他の人となにも違わないの。」

お母さんは、向かいの女の人語りかけるように、やさしい声で言いました。その話をじっと聞いていた周りの乗客も、向かいにすわっていた片うでのない女性もみんな、その親子を見つめていました。優しくて温かい空気が、電車の中をもっとあたたためてくれました。女の子と若いお母さんのやりとりは、その冬一番のすてきな贈り物として大切に我が家へ持ち帰りました。

そして、その贈り物は今日、ゆたか小学校のみんなへ届きます。2学期後半は、学年のまとめの時期です。みんな、自分が持っているもの、そして自分の中にある「よさ」をたくさん見つけてください。みんなのなかに同じ人はひとりもいません。ちがうからいいのです。また、友達の「よさ」もたくさん見つけて教えてあげてください。そして、たくさんの「ありがとう」がいっぱいの温かい学校生活になりますように。